

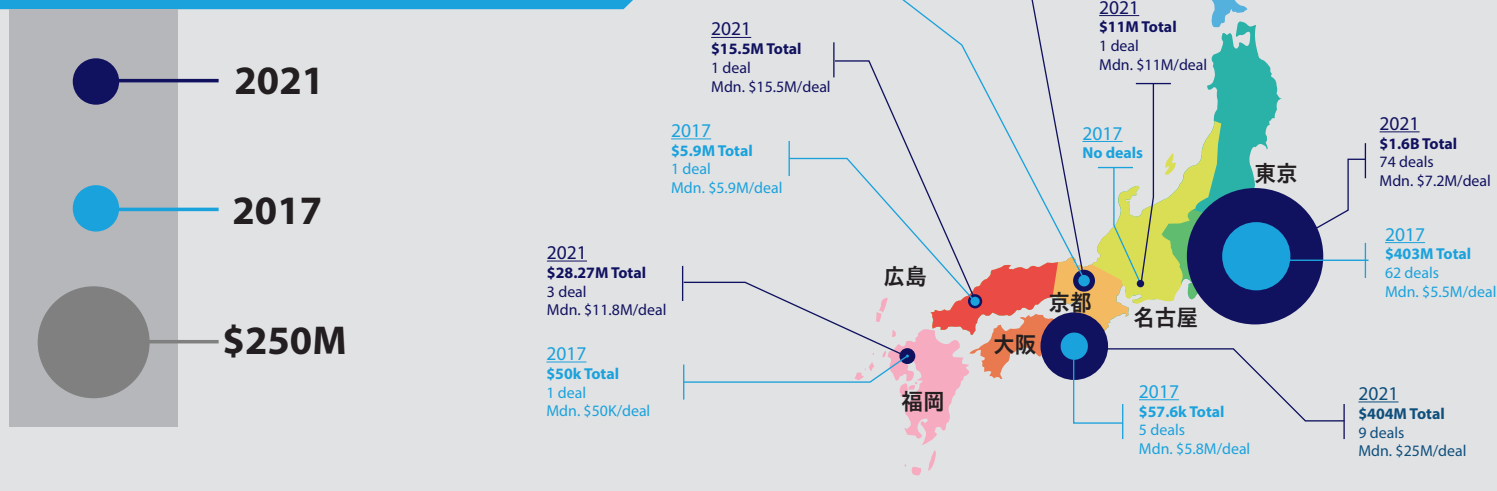
# ヘルスケア業界におけるベンチャーキャピタル投資動向

世界に開かれたライフサイエンス・エコシステムの構築を

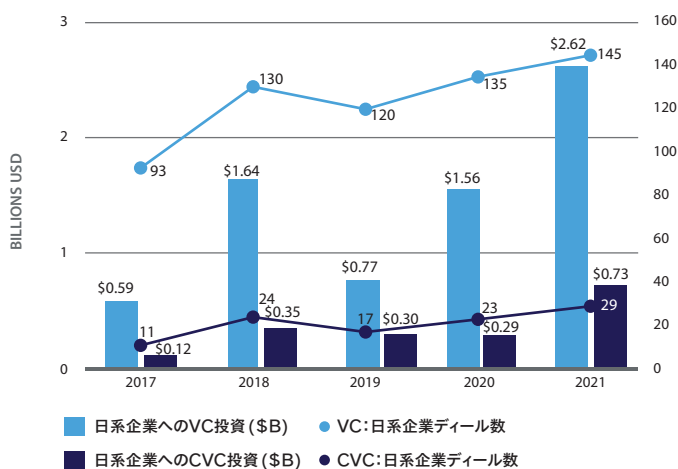
本レポートについて:

- 過去5年間におけるベンチャーキャピタル (VC) の米系・日系ヘルスケア企業に対する投資活動のトレンドを調査。
- 投資の合計額、1回あたりの投資額、およびヘルスケア分野や適応症別の傾向、治療領域別の新しい投資傾向、そして地域エリア別の投資実態を分析。
- 本レポートのフルバージョン (22頁) は、湘南アイパークの入居者・メンバーシップ会員向けイントラネット「[湘南アイパークポータルサイト](#)」で公開しています。また、メール会員 (登録無料) にも配布しておりますので、希望される方は[こちら](#)のページよりご登録ください。

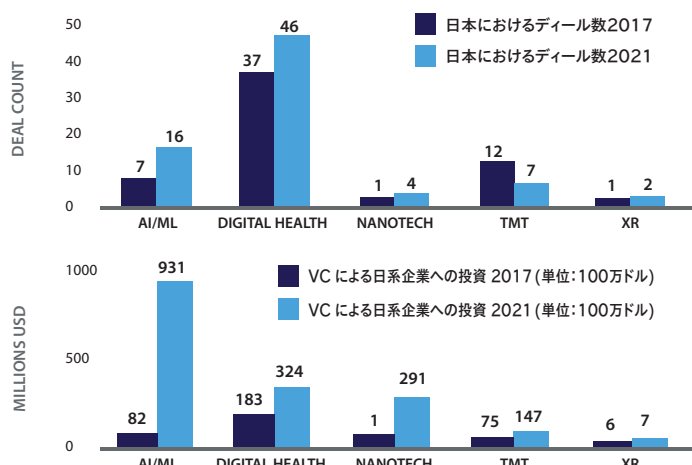
## VCによるヘルスケア企業への投資 エリア別



## VC・CVCによるヘルスケア投資動向 (日本)



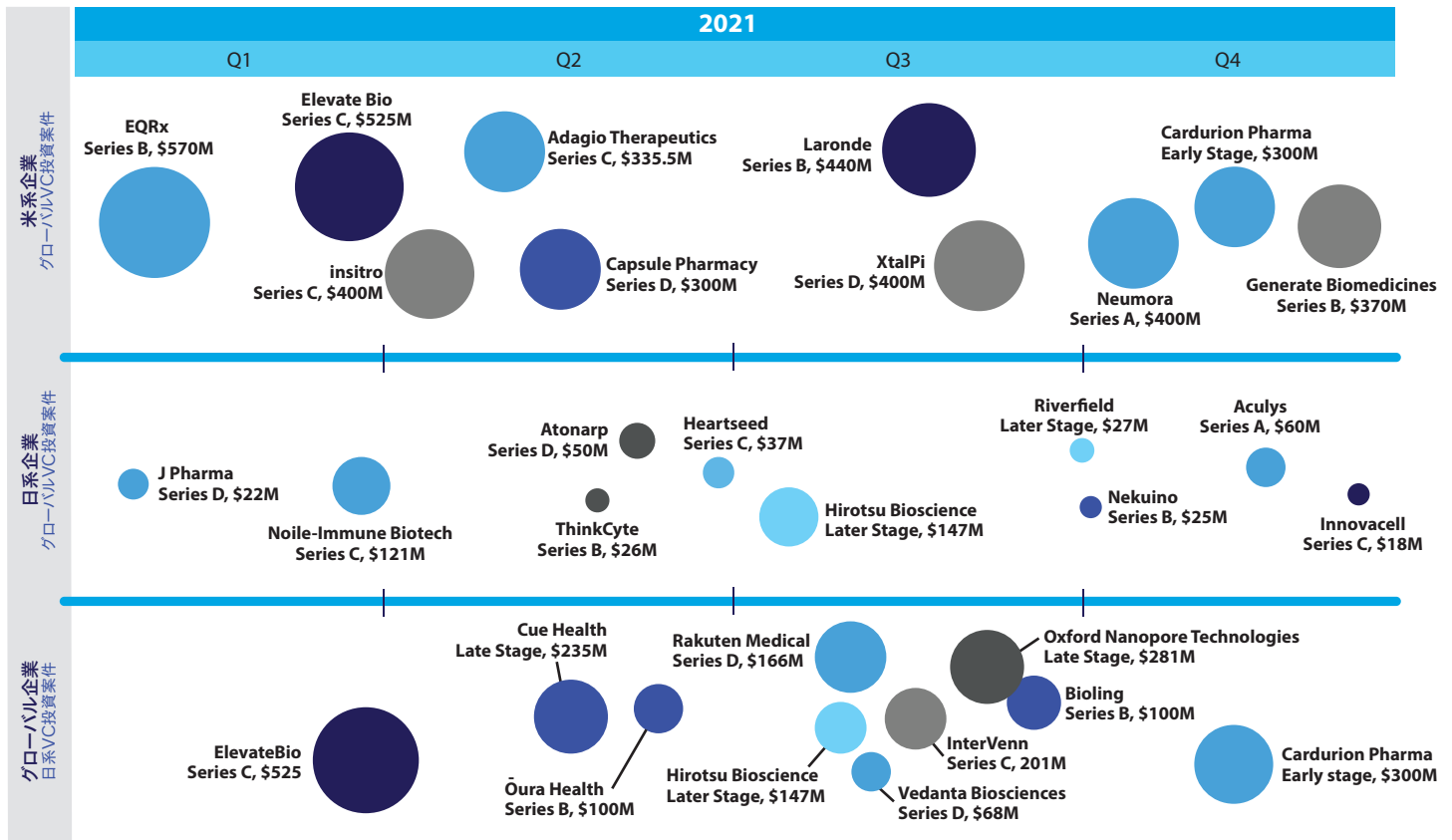
## VCによるヘルスケア投資 テック・デジタル領域 (日本)



AI/ML: 人工知能・機械学習およびビッグデータ  
 デジタルヘルス: デジタルヘルス+ヘルステック+フェムテック+ウェアラブルの組み合わせ  
 TMT: テクノロジー、メディア・情報通信  
 XR: ARおよびVR

# ヘルスケア業界におけるベンチャーキャピタル投資動向

## 主なVCヘルスケア投資案件



## 主な傾向

- 東京は引き続きヘルスケア投資の中心地。2021年には15億ドル以上のVC資金を獲得。獲得総額第二位の大阪の3倍以上。
- 日本のヘルスケア企業に対するVC・CVC投資は、年々急速に増加。しかしながら、VCによる日本のヘルスケア企業への投資額は、米国のヘルスケア企業への投資額の～4.4%にとどまり(2019年は2.8%、2020年は3.5%)、CVCによる日本のヘルスケア企業への投資額は、米国の～3%にとどまるのが実情。
- 2017年以降、日米ともにテクノロジー型ヘルスケア投資が増加。日本では「フェムテック」と「ナノテクノロジー」領域が最も増加基調。
- 日本では「遺伝子治療」や「合成生物学」などの最先端技術トレンドの投資機会に乗れていない可能性がある。遺伝子治療、細胞治療、免疫治療、合成生物学などの最先端技術群への投資は、米国では過去5年間一貫して増加、日本で同様の傾向はみられない。
- 2021年、中国は日本のVCによるヘルスケア投資額と比較して10倍規模の投資を実施。(2017年値では、日本の7倍) 中国におけるディール数は日本の8倍以上。EUの投資額は日本の7倍、ディール数は9倍。